

宿泊行事におけるホームページ速報について

明日から5年生の野外活動が実施されます。入学以来、初の一泊二日の行事です。子どもたちは、スタンプ等の練習や準備で忙しくしています。と同時にその日をとても楽しみにしています。学校としても、この機会に得られる経験は子供たちを一回り大きくすると経験上知っているのが大切にしている行事です。

近年、インターネットの普及で学校ホームページも多彩な情報を上げ、学校と家庭をつなぐ重要な役割を果たすようになりました。本校でも日々更新する中でアクセス数も増えており、学校のことを以前より知ってもらえるようになったと考えています。宿泊行事も同様で、全国の学校でいかに迅速に元気な姿をアップするかを競い合っている風潮もあります。さて、今春の修学旅行時に本校でも、訪問する場所ごとに写真を撮りホームページからアップし、宿泊地ではパソコンを借り、その場からアップしました。心配している保護者のみなさんに安心してもらおうと考えた措置です。当然アクセス数も爆発的に多く、お役に立てた。と自負していました。

ところが、今回職員との打合せで「そんなに急いで情報を伝える必要があるのか」「思い出を家に持ち帰り、自分の口から語らせたい」「親の心配はわかるが、一晩心配して過ごすことも大切なのでは」等たくさんの意見が出ました。有名な教育評論家も今の風潮に「やりすぎ。もっと他にやることあるはず」と言っているそうです。



いろいろ考えました。手を伸ばせばそこに情報があり、渡すことが可能であれば時代の要請としてしてあげることが「親切」かもしれません。しかし、「教育」の現場で得られる貴重な「財産」は大切にしたいと思います。そこで、今回はホームページ上では、必要最低限の伝達にとどめることにします。少し時間を経てから、「まとめ」として掲載することを考えています。御理解ください。